

# 進路室だより

## 夏休み特集号

### —光陰矢の如し—

【発行】  
愛媛県立南宇和高等学校  
進路課

高校で何をやったか、卒業後に何がしたいかが問われる  
教頭 橋本 孝之

1979年から始まった共通一次テストは、マークシート式でありながら「暗記だけでは解けない、考えさせる設問がある」と評価されたセンター試験に1990年に変わりました。しかし、めまぐるしい社会の変化に対応していくために、「知識の量だけでなく、自ら問題を発見し、答えや新しい価値を生み出す力が重要になる」として、2020年度から思考力・判断力・表現力をより重視するための大学入学共通テストへと変わります。これからは、知識や技能が主体的な評価ではなく、「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が、入試、調査書や志望理由書、面接などで総合的に評価されることとなります。そこで大切なのは、入試をどう攻略するのではなく、今、大学や企業に求められている人材とは何かを考え、高校3年間をどう過ごすかということです。思考力・判断力・表現力とは、勉強や情報から得た多くの知識と体験の引き出しを頭の中で組み合わせることができる力だと思います。その取組の結果、得意な科目、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、特技、

資格・検定、コンテストなどのネタが自己PRとして強い味方になってくれるはずですよ。

以前、面接試験の練習で、愛南町の課題とこれからの展望を質問した時に、多くの方が少子高齢化、若者の流出について挙げ、解決策として企業を誘致し、病院を増やして住みやすい町にするといった、安直な発想の意見が多くありました。これまで地域行事にはあまり参加せず、地域のことを深く考えたことがない人も多いため、会話はこれ以上深められず、これでは相手には薄っぺらな意見だと思われてしまいます。また、一字一句間違わずに、履歴書や志望理由書に書いたことを述べる人もいますが、重要なところを経験に基づいて膨らませた方が、面接官には好印象であり、小論文においても体験を踏まえた建設的な意見の方が、とても説得力のあるものになります。

面接試験では、なぜこの職種に就きたいのか、なぜこの会社に入りたいのか、なぜ向いているのかを具体的に言うようにし、仕事に対する情熱を語ることが重要です。就職希望者も進学希望者も、平日頃から、第三者の意見などを参考にしながら、自分がどんな職業に向いているのかを早い時期からじっくりと考えてもらいたいと思います。

今、できることは  
3年学年主任 西川 いず美

今年度のスタートは思いがけない休校から始まりました。3月3日から5月25日の全面開校まで本校は約2か月半の自宅学習を余儀なくされました。それを受けて、教職員も新しい対応を迫られました。生徒の健康観察、授業動画の配信など、オンラインを活用した生徒支援の可能性を探ることになりました。私などは若干腰が引けていたのですが、詳しい先生の教えを受けながら、課題配信に挑戦しました。日本中、いや、世界中がインターネットでつながるということは頭では分かっていたのですが、今までどこか他人事でした。これほど急に身近になるとは！！  
多くの著名人がインターネット上からメッセージを送ったり、プロスポーツ選手が神業を見せたりするなかで、高校生の吹奏楽部員が自宅からそれぞれに楽器を演奏し、合同演奏をしているものがありました。今まで当たり前のように過ごしていた日常が制約されても、新しい形を見出し、柔軟に対応していくという高校生のしなやかな発想にこれからの未来を明るく感じました。一方、ネット環境が整ってない場所や自分で行動を起こさない人間には非常に厳しい世界となりそうだと感じます。

自分の進路実現のために何をすべきか、というのは一人一人違います。担任の先生方は生徒一人一人と面接をしながら、それぞれにアドバイスをしてくれます。ただし、先生はAIのように膨大なデータベースからあなたに最適な進路先を決定できるとは限りません。私が高校生だった何十年も前は、それでも先生からの情報は最大級の情報でした。そして、本当に行動力のある人しかそれ以外の世界を広げることは難しかったように思います。多くの生徒は「大阪で働きたい」「給料の高いところがいい」「工学部に行きたい」「先輩が行っている」という表面的な条件だけで就職や進学を決めていったように思うのです。本当にそれらが第一条件なのか、あの頃の自分に戻って、よく考えんか！と説教してやりたくなります。しかし、今は違います。家で寝転んでいても、スマートフォンがあれば、世界中から情報を集めることができるのです。自分がどのような職場で働こうと考えているのか、もしくは、進学先で何を学びたいのか、自分自身で調べることはいくらでも可能なのです。自分でよく吟味して選んだ場所であれば、多少辛いことがあっても、そう簡単に投げ出そうとは思わないでしょう。社会に出れば、周りには自分のために回っているのではないということ、今まで以上に感じることであります。その時に、自分自身でしっかり考えて選んだのであれば、きっと何かしら面白さを感じて頑張ることができるのではないのでしょうか。

相乗効果と啐啄同時  
3年4組 担任 古田 賢司

雛は孵化するとき、内側から卵の殻を破ろうとします。親鳥は孵化を促そうと、外側から卵の殻をつつきます。雛の殻を破ろうという雛の意思と、親鳥の助けようという力がかみ合ったとき、卵の殻はキレイに割れ、雛は新しい世界へと羽ばたきます。そこから派生したのが、中国の仏教書を原典とする「啐啄同時」という言葉です。

私はこの「啐啄同時」を、生徒同士、学級全体で実現できたらと思っています。

皆さんは、様々な可能性に向けて切磋琢磨している最中です。勉強を一生懸命頑張ったり、部活動で結果を出そうと努力したり、学校行事や校外活動に力を入れたり、その様子は人それぞれです。そういった『殻を破ろう』とする姿は、私たち教師は

もちろん、周りの同級生にも心強く映ります。そして、お互いの目標をサポートしよう、一緒に頑張ろうという気にさせてくれます。さらに、自分から進路情報や気になるニュースを集めたり、質問をしに来たりする姿は、周りへの刺激になり、よい意味での焦りを与えてくれることでしょう。周りのやる気と自分自身のやる気が相互に影響し合うと、進路実現に向けて大きな一歩が踏み出せ、殻を破ることができるだろうと私は確信しています。しかし、これは逆も言える話です。自分からは動かない、課題や取組への反応がない、そんな様子から周りが良い影響を受けることは難しいでしょう。『受験は団体戦』という言葉にもあるとおり、一人一人の取組というのは、本当に重要なものなのです。

皆さんは常に、大なり小なり人生の岐路に立っています。しかし、一人でそこに立っているわけではありません。自分自身の殻を破るため、周りとの良い影響を与え合う「啐啄同時」が実現されることを願っています。

「葛藤・妥協・成長」  
2年2組 担任 田中 舞

音楽の三要素は「リズム・メロディ・ハーモニー」です。どれか一つの要素のみでも音を奏でることはできますが、三つ全ての要素が組み合わさることにより、更に臨場感が溢れ、人々の「心に響く」サウンドになります。

ところで、皆さんにとって自分の「心に響く」人はいますか？いるとすれば、その人はどんな人生を送ってきたのでしょうか。おそらく、多くの経験の中で葛藤し、妥協し、試行錯誤しながら成長を重ねてきたからこそ人の「心に響く」ような言葉を発したり存在感を放ったりするのではないのでしょうか。「葛藤・妥協・成長」これは人生の三要素だと、私は考えます。

皆さんは、勉強が嫌になり、逃げようとしたことはありませんか？人間関係が面倒くさくなり、逃げようとしたことはありませんか？

高校生はとかく不安定で多くの負の感情や周りの環境に押しつぶされそうになる時期です。そんな時、自分の殻に閉じこも

らず、しっかり周りに目を向けたり、自分と向き合ったりしましょう。葛藤しましょう。

また、いつかは妥協しなくてはならない時があると思います。周りの人が何を言っても耳を貸さない、自分には自分の生き方があるんだ、信念を貫き通すのだ、という人もいるでしょう。学校という枠組みを外れた時が一番実感できる時だとは思いますが、気付くのは早い方が得です。自分の信念を残しつつ、視野を広げ、妥協して一歩前進しましょう。

葛藤し、妥協し、試行錯誤しながら時を重ねるといつのまにか成長することができています。これらを少しずつ積み重ね、自分の心を磨いていくことによって人は誰かの「心に響く」人になるのではないのでしょうか。

端的に言うと、高校生の今のうちから一つ一つの経験を大切に

にし、心と頭を使う癖をつけてほしいということです。「葛藤・妥協・成長」この人生の三要素を組み合わせ、一度きりの人生を臨場感溢れるものにしてほしいと心から願っています。

充実した高校生活を！  
1年3組 副担任 大岩 純菜

「たら、ればで語る人間になるな」  
この言葉は私が高校生の時、担任の先生がよく言っていた言葉です。皆さん、普段の生活で「やればできる」、「頑張ったら大丈夫」などといった言葉を使ってはいませんか？これらは、希望的観測にすぎません。つまり、自分の都合によいような解釈だということです。そして、多くの場合失敗に終わります。

勉強にしろ部活動の技術にしろ、一朝一夕で身に付くものではありません。「やればできる」と言って本当に全部をこなしている人がいたら、その人はきっと東大に受かったり、オリンピックに出場することができたりするでしょう。しかし、実際のところそんな人はいないと思います。

そう考えると必然的に大切になるのが、日々の授業や練習です。授業で寝ていたり、練習をさぼっていたりすると、必ずそれを取り戻すための時間が必要になります。自分がそれを取り戻している間、真面目にやっていた子たちは発展的な学習や練習でさらに力を付けていきます。始めの方の差は小さいものですが、その差はすぐに大きくなり縮めることが難しくなります。効率悪いこと、この上ないです。

皆さんより少しだけ先輩である私から言えることは、「やれるときにやれることはやろう」です。後回しにすると何もいいことはありません。そして、皆さんには、「たら、れば」で語る人ではなく、やりきったことを堂々と語ることができ人になってほしいなと思います。将来、高校生活を思い出したとき、やりきったな、楽しかったなと思える高校生活を過ごしてくださいね。

就職した先輩の声

株式会社アイネットケアサービス

普通科 女子

私の勤務しているアーバニティ若水は住宅型老人ホームです。ここでは介護職員や看護師が交代で24時間常駐しているの...
仕事量が決まっているので、とても安心して働いています。
今年はコロナの影響で学校に通えないので、まず現場に入って掃除をしたり、介護に関する施設内で行われる行事に参加したりして、会社や介護についての研修を受けています。この会社では働きながら資格も取れるようになっており、費用も会社が負担してくれます。

今後は介護福祉士の資格を取って、将来は地元の愛南町でそれを生かせる職場で働きたいと思っています。

皆さん、勉強や面接練習など大変だと思いますが頑張ってください。

日本郵便株式会社 四国支社

農業科 男子

郵便局の仕事には、大きく分けて郵便業務、銀行業務、保険業務の三つがあります。全てお客様のお金や郵便物を扱う仕事なので、非常に責任感の必要な職場です。仕事の内容は覚えることが多く大変ですが、先輩方に教えていただきながら働いています。

南宇和高校では、海外研修事業などに参加することができ、貴重な経験ができました。就職には勉強も大切ですが、学校行事やボランティア、地域の行事などに積極的に参加し、いろいろな人とコミュニケーションを取ることも大切になります。高校生の時は、先生方がいろいろと助けてくれましたが、社会人になると自分から動かないと誰も助けてくれません。また、資格なども積極的に取っておくことをオススメします。

皆さん南宇和高校で、充実した高校生活を送ってください。



宇和島信用金庫

普通科 女子

宇和島信用金庫は地域に密着した金融機関です。3月の中旬から約2週間、宇和島の本店で研修がありました。その際、いろいろな方から話をさせていただいたり、規則や業務に必要なことや書類の書き方等を教えていただいたりしました。

入社して約3か月経ちますが、職場はとてもアットホームな雰囲気、皆さんが気さくに話しかけてくださるので、とても働きやすい環境です。勤務時間は午前8時45分から午後5時30分で休憩が1時間あり、1日7時間45分の勤務になっています。

高校生の時は、働いてお金をもらうということがどれだけ大変なのか考えたことはありませんでしたが、実際に働いてみて初めてお給料をいただいたときは、働いてお金をもらうということはこんなに大変なことなのだ実感しました。

今後は、少しでも早く仕事に内容を覚えて、ミスがないように正確に処理して、お客様にはもちろん、職場の先輩方にも信頼してもらえるよう、笑顔と感謝の気持ちを持って元気に頑張っていきたいと思っています。

これからのスケジュール

【就職】

- 8月4日(火) 就職ガイダンス①
12日(水) 学校斡旋就職先希望申込書 提出
18日(火) 就職ガイダンス②
27日(木) 学校斡旋就職申込者指導
10月5日(月) 就職書類発送
16日(金) 就職採用試験開始

【進学】

- 8月3日(月)～4日(火) 全統マーク模試
18日(火)～19日(水) 夏季課外(後期)
19日(水)～20日(木) 県学力テスト(3年)

★ 就職も進学も、スケジュールをよく確認して計画的な準備をしていきましょう！

夏休みの勉強法

～自分の状況に合った勉強法を探してみよう～

国語

- 新聞を読んだり読書をしたりして、読解力や感性を磨くこと。(特に新聞のコラムや社説)
★時間はかかるが、結局は国語力の近道となる。
●1年生の古典は、1学期に学んだことを復習しておくこと。(文法書も活用しよう)
★高校で新たに身につける内容は、8割近くが1年生で学習する事項。1年生の古典を制する者は、高校古典を制す。
●入試で小論文が必要な人は、自分の進路に関連したテーマの本を読んでおくこと。
★小論文は、テーマに関する知識無しで書くと、説得力の薄いものとなる。
●問題集を解き、疑問点を解決するように努めること。
★知識をコレクションするだけでは問題は解けない。理解して初めて意味がある。しっかりと解答・解説を読み込もう。

地歴・公民 ◎は特に3年生は必見

- 【日本史】
◎理解していない暗記では厳しい。授業で理解したことを、家で復習し、模試で確認するという習慣を付けよう。
●教科書・ノートをもう一度最初から読む。
●自分がどの部分が苦手なのかを把握し、苦手な範囲を重点的に復習しよう。
【地理】
◎苦手分野を残しておかないこと。(3年生は特に。地形図、図法、民族は大丈夫?)
◎模試を柱にして予定を立てよう。
●広く広く、いろいろな知識を身に付けよう。
●地図帳や図表をよく読もう。
【政治・経済】
◎取り組みやすいと思う大学入試用問題集を用意し、この夏集中して取り組もう。
●分からないことを積極的に先生に質問しよう。
◎授業のプリントは繰り返し解いて必ずマスターしよう。

理科

- 【全般】
●学習時間を確保してこつこつ取り組む。
●1学期に習ったところの復習を徹底的にする。
●確実な計算力を身に付けること。
●自然現象を注意深く観察する。
●毎日の生活の中で、疑問を抱く。
●新聞に目を通し、特に環境や医療問題に関する記事には注目する。
●なぜそうなるのかという疑問を持って、教科書を隅から隅まで読み、疑問点を解決しよう。

理科 ◎は特に3年生は必見

- 【物理】
◎物理の教科書をじっくりと読み返すこと。
◎問題を見たらすぐに解くのではなく、どの法則が当てはまるかを書いて、解き始めること。
◎セミナー物理基本問題をもう一回自分で解く。
【化学】
◎模試の後には、模試の類問を問題集で解こう。
●問題集を最低2回確実にやる。特に、答え合わせに力を入れること。○や×をつけるだけではなく正しい答えに至る考え方を大切にすること。
●全体の概要をつかむようにしよう。
●規則性に注目しよう。
【生物】
●課題を確実にこなし、考え方をマスターする。
●苦手な人は、問題集などを何回も解く。
【地学】
●地震、台風、宇宙のニュースは最後まで見ること。
●授業で作成したノートを基に、問題集の解き直しを行うこと。

数学

- 【大学入学共通テスト受験生】
●過去問や演習問題を解く際は、時間を測って自己採点する。
●出題者の意図を読み取る。
●定理の成り立ちや定義を確認する。
★以上の点に注意すれば10点アップは確実。
【全般】
●数学の見方、考え方の習得も大きく自分を成長させると思うこと。そして、日々無理のない学習計画を立て、こつこつと問題を解くこと。「継続は力なり」
●1年生は、2次関数の式変形や条件に応じた解法の流れを理解すること。また、計算練習をしっかりとしておくこと。
●2年生は、公式の復習を行い、整理しておく。特に、関数の特徴や解法の見通しを意識して学習すること。
●3年生は様々な問題を解き、その解法を身に付けておく。なぜそうなるのか、しっかりと考えるようにすること。

英語

- 【1・2年生】
●1学期に学んだことをしっかりと復習すること。
●基礎を確認した上で、じっくり問題集に取り組むなど、プラスαの勉強をしてみよう。
●苦手な人は、前学年の内容の再チェックをやりましょう。(1年生は中学校の内容の確認を)
【3年生】
●時間を決めて速読の練習を。
●問題集の解き直し。(重要事項が詰まっています)
●自分の学力をじっくり考えて、語彙力の強化(単語・イディオム)や、リスニングもやってみましょう。
●志望校の過去問の研究も始めましょう。

☆英語は、ちょっとやったらすぐに結果の出る教科ではありません。粘り強く、毎日継続して勉強していきましょう。